
「CIN3 合併妊娠例における分娩後の子宮頸部円錐切除術の至適な施行時期に関する 後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと
行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用
することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方で
も結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは
一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2004 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の期間に CIN3（子宮頸部高度異形成、子宮頸部上皮内
癌）合併妊娠と診断され、埼玉医科大学総合医療センターで CIN3 の経過観察を行い、2022 年 3
月 31 日までに当院にて分娩（帝王切開を含む）され、分娩後も引き続き当院で CIN3 の管理を行
った患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

CIN3 に対する標準治療は子宮頸部円錐切除術ですが、妊娠中の CIN3 に対しては、浸潤性子宮
頸癌の存在が疑われなければ妊娠中に手術は行わず、分娩終了まで慎重に経過観察することが
標準的な管理方針となっています。そして分娩後に子宮頸部円錐切除術が行われることになり
ます。しかし、分娩後にどのタイミングで子宮頸部円錐切除術が行われるかについては明確に
は決まっておらず、各施設によってその時期は異なります。

子宮頸部円錐切除術の術後合併症に子宮頸管狭窄（子宮口が狭くなる、あるいは閉じてしまう
状態）がありますが、特に分娩後の早い時期に手術を行なった患者さんでの発症頻度が高くな
ることが知られています。

そのため、現在、埼玉医科大学総合医療センターでは、CIN3 合併妊娠の患者さんの分娩後の子
宮頸部円錐切除術は、可能な限り月経が再開した後に行うようにしています。しかし、手術を遅
らせることで隠れた浸潤性子宮頸癌の発見を遅らせるリスクも伴うため、どのタイミングで手
術を行うことが患者さんにとって最適なのかを慎重に見極める必要があります。

今回、当院で妊娠中から分娩後にかけて CIN3 の管理を行なった患者さんの過去の診療情報を
調査することにより、分娩後の子宮頸部円錐切除術の適切な施行時期について検討するための
観察研究を行うことにしました。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年8月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年5月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究では、患者さんの診療情報（分娩時の年齢、分娩日、分娩様式、診断時および分娩後の子宮頸部病変の病理所見、円錐切除時の病理所見、円錐切除時の年齢、手術施行日、手術時点での月経再開の有無や授乳の有無、術後頸管狭窄の発症の有無など）を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である 長井 智則 が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

なお、この研究で収集した診療情報は、この研究に関連した将来計画される研究に利用（二次利用）される可能性があります。

2. 試料・情報の取得方法

CIN3 合併妊娠と診断された患者さんの診療記録および病理診断報告書を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 魚谷 隆弘

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 高井 泰

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 鮫島 浩輝

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 木崎 雄一郎

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター・母体胎児部門 品川 裕伯

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9:00～17:00）

○研究課題名：CIN3 合併妊娠例における分娩後の子宮頸部円錐切除術の至適な施行時期に関する
後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則